

Gサイエンスのテーマ分類

開催国	開催年	保健	気候変動	イノベーション	エネルギー	災害	教育	水	海洋	開発	食料・農業
英国	2005		気候変動に対する世界的対応							アフリカ開発のための科学技術	
ロシア	2006	鳥インフルエンザと感染症			エネルギー持続可能性と安全保障						
ドイツ	2007		成長と責務—持続可能性、エネルギー効率及び気候保全 *1	成長と責務—イノベーションの推進と保護	成長と責務—持続可能性、エネルギー効率及び気候保全 *1						
日本	2008	地球規模の健康問題（グローバル・ヘルス）	気候変化：適応策と低炭素社会への転換								
イタリア	2009		気候変動と低炭素社会に向けたエネルギー技術への転換 *2		気候変動と低炭素社会に向けたエネルギー技術への転換 *2						
カナダ	2010	母子の健康の推進		開発のためのイノベーション							
フランス	2011	水と健康 *3					科学を基盤とする世界の発展のための教育	水と健康 *3			
アメリカ	2012		温室効果ガス		エネルギーと水 *4	災害に対するレジリエンス（回復力）の構築		エネルギーと水 *4			
英国 インド	2013	病原微生物の薬剤耐性問題：人類への脅威		持続可能な開発の促進：科学・技術・イノベーションの役割							
	2014	Gサイエンス開催なし									
ドイツ	2015	感染症と抗菌剤耐性：その脅威と対策、顧みられない熱帯病	海洋の未来：人間の活動が海洋システムに及ぼす影響 *5						海洋の未来：人間の活動が海洋システムに及ぼす影響 *5		
日本	2016	脳の理解、疾病からの保護、国際的な脳関連リソースの開発				持続可能な発展を支える災害レジリエンスの強化	未来の科学者の育成				
イタリア	2017	人口高齢化における神経変性疾患の課題		新しい経済成長：科学、技術、イノベーション、及び社会資本の役割		文化遺産：自然災害に対するレジリエンスの確立					
カナダ	2018		地球規模課題としての北極圏：北極海の環境変化に対応した持続可能な社会を目指して *6	デジタル・フューチャー：デジタル化による社会変革の実現と情報・知識、産業、労働・雇用への影響の展望について					地球規模課題としての北極圏：北極海の環境変化に対応した持続可能な社会を目指して *6		

*: テーマが複数のテーマに及んでいる場合に記載

S20のテーマ分類(案)

開催国	開催年	保健	気候変動	イノベーション	エネルギー	災害	教育	水	海洋	開発	食料・農業
ドイツ	2017	世界の健康を改善する :伝染性及び非伝染性 疾患と闘うための戦略 と手段									
アルゼンチン	2018										食料・栄養の安全保 障:土壌改良と生産性 向上